

2016-17 Rotary International District 2530

GOVERNOR'S

MONTHLY LETTER

ガバナー月信 8月号

vol.2
2016.08.01



表紙：もとみやみずいろ花火(本宮市夏まつり)



人類に
奉仕する
ロータリー

CONTENTS

- | | |
|-------------|----------------|
| 2 ガバナーメッセージ | 10 新会員紹介 |
| 3 地区掲示板 | 13 事務担当者研修セミナー |
| 4 諮問委員会・他 | 14 地区大会のご案内 |
| 5 委員会事業計画 | |

国際ロータリー第2530地区

2016-17年度

〒963-7744 福島県田村郡三春町八幡町41

TEL 0247-61-5807 FAX 0247-61-5808

E-mail:d2530@sky.plala.or.jp

Governor
佐久間 英一



ガバナーメッセージ

会員増強・拡大月間にあたって



国際ロータリー第2530地区
2016-17年度ガバナー

佐久間 英一

ロータリー特別月間はクラブだけでなくロータリアン一人ひとりが、ロータリーの活動に参加するよう強調する為の月間です。RIの最優先課題は「ポリオの撲滅」と「会員の増強」であり、最も大切な課題の月間であるという認識を持っていただきたいのであります。

日本における会員の平均年齢が高いのは、会員の質と理解の質を、社会的に著名な人や完成された人と誤解した結果なのではとも思っています。ロータリアンの質とは、ロータリーライフを通じて、将来素晴らしいロータリアンに成長する素質があるかどうかであり、ロータリーライフが奉仕の理念を育み人間性を高める人生道場と考えるならば、入会は若ければ若いほど良いことは明らかです。ロータリーは、自らが入会を申し出る制度がないので、会員の推薦がなければ入会する事は出来ません。ロータリーのロータリーたる所以と言われてきた、職業分類制度と毎週1回の例会開催という2つの牙城の一角が崩れた現在、なんとか毎週1回だけは守りたいとも思う今日の頃ですが、皆さんのクラブの動向はいかがでしょうか。

私は、第2530地区の地区目標の第一に「RI会長賞への挑戦」を掲げております。それは各クラブが様々な挑戦項目に具体的に挑戦する機会に出会えるからであります。その項目の一つに「会員の増強と維持」があり、以下の3項目うち2項目を達成してくださいとあります。

- ・ 会員数の純増：小クラブ(会員50名以下)は少なくとも1名の純増、大クラブ(51名以上)は少なくとも2名の純増を達成する。
- ・ 会員維持率を前年度と比べ少なくとも1%上げる。または、会員維持率100%を維持する。

- ・ 40歳未満の新会員の入会：会員50名以下のクラブは40歳未満の新会員を少なくとも2名、会員数51名以上のクラブは少なくとも4名入会させる。新会員はMy ROTARYのアカウントを作る。
- 皆さん、どうかこの機会に会員増強策と会員退会問題の解決策を、クラブの戦略計画も併せて検討して頂けないでしょうか。

参考文献がありましたので掲載させていただきます。

1. 新会員推薦は各ロータリアンの責務であることを印象付ける。
2. 例会で未充填分類表を公表する。
3. クラブ会報に、未充填職業分類表や会員増強に関する記事を掲載する。
4. 例会において、推薦手続きを含む会員増強のプログラムを実施する。
5. クラブフォーラムで会員増強の必要性を強調する。
6. 会員増強に関する資料を配布する。
7. 会員増強の進捗状況をクラブ会報や例会で報告する。
8. 事業所の開設移転等、会員増強に影響を及ぼす地域社会の変化を把握する
9. 会員の退会を防止する。
10. 8月の会員増強及び拡大月間に特別プログラムを実施する。

以上、ガバナー補佐研修資料(編集：刀根狂兵衛 氏)より



三春人形
「若衆」

地区掲示板

佐久間ガバナーが県知事、三春町長を表敬訪問

7月15日、ガバナー就任挨拶のため、内堀雅雄福島県知事を表敬訪問いたしました。内堀知事はロータリー活動や三春町のことについても大変幅広い知識をお持ちで、佐久間ガバナーと様々な話題で懇談をされました。席上、9月25日の地区大会にご来賓としてご出席いただけるようお願いをいたしました。また、同日福島民報社と、福島民友新聞社も訪問しました。福島民報社では、高橋雅行代表取締役社長、早川正也編集局長、安斎康史報道部長と懇談をし、



福島民友新聞社では五阿弥宏安代表取締役社長、柳沼幸男専務取締役と懇談をしました。両紙とも翌日の紙面で紹介されたので、会員の皆様にもご覧いただけたものと思います。

7月22日、鈴木義孝三春町長を表敬訪問いたしました。鈴木町長と佐久間ガバナーは旧知の間柄でもあり、和やかに懇談しながら、ロータリークラブへのご支援と、地区大会へのご出席をお願いしてきました。(地区幹事：永井 久 記)

地区名簿の訂正について

先日お送りした「地区名簿」に下記の通り誤りがありましたので訂正いたします。関係の皆様にお詫び申し上げます。

- p.05 地区組織図 第1ゾーン
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会理事
(誤)加藤義朋(福島)→(正)PG大橋廣治(福島南)
- p.21 海老名正俊様のメールアドレス
(誤)m.sbina@...→(正)m.ebina@...
- p.51 中村岳嗣様の役職
(誤)職業奉仕委員会副委員長→(正)社会奉仕委員会副委員長
- p.54 柳沼克己様の郵便番号
自宅(誤)969-1405→(正)969-1404
勤務先(誤)964-9875→(正)964-0875
- p.63 高田藤太郎様のメールアドレス
(誤)chuokaikei@...→(正)chuoukaikei@...
- p.80 いわき勿来ロータリークラブの例会場
(誤)未記載→(正)ホテルミドリ
- p.113 (誤)新城美雄→(正)新城義雄

「地区名簿を追加で御入用の方は地区事務所に問い合わせてください。」



第1回諮問委員会、第1回ガバナー補佐会議、前期地区委員会総会 報告

7月10日(日)、郡山ビューホテルアネックスにおいて、第1回諮問委員会、第1回ガバナー補佐会議、前期地区委員会総会が開催されました。



【第1回諮問委員会】

諮問事項

- ① 米山記念奨学会理事推薦の変更について
大橋 廣治パストガバナーを推薦することに決定
- ② 2016-17年度地区大会「地区大会委員会」委員の選任について
登録委員会委員長：酒井善盛IPG、資格審査委員会委員長：野崎 潔PG
選挙委員会委員長：渡邊公平PG、決議委員会委員長：根本一彌PG



地区幹事

永井 久(三春RC)

各委員会委員はガバナー補佐と大委員長で構成する。

- ③ 地区表彰実施規定について
地区規定改定委員会を設けて、早急に地区規定の見直しを進める。
- ④ 「日本のロータリー 100周年委員会」協力金について
協力する。東京中心ではなく、日本全体で意見を出し合って進めることを提案。

報告事項

- ① 戦略計画委員会について
- ② 2016-17年度地区大会開催要項について
- ③ 2017-18年度ガバナーノミニー指名委員会設置について
- ④ 2016-17年度ガバナーノミニー指名委員会の経過報告について

【第1回ガバナー補佐会議】

- ① ガバナー訪問について
日程調整、計画書の提出、会長への質問事項について 他
- ② 地区大会について
地区大会委員会について…諮問委員会の②と同様。
地区内会員の60%登録(約1500名)の依頼。分区毎の目安を説明。
- ③ ガバナー補佐訪問について
ガバナー補佐訪問計画書を7月末までに提出する。

【前期地区委員会総会】

約120名が出席し、各委員会毎に分科会を行い年間事業計画を作成しました。総会終了後に開催した懇親会には、約100名が参加し、懇親を深めました。各委員会の事業計画については、次ページからの報告をご覧ください。



委員会事業計画

クラブ奉仕委員会



委員長 笠原 宏男(本宮RC)

副委員長 高萩 勝利(いわき勿来RC)

会員増強委員会委員長 箭内 一典(福島中央RC)

拡大委員会委員長 山守 龍司(いわき内郷RC)

クラブ活性化支援・広報委員会委員長 志藤 弘彰(会津若松RC)

ロータリー情報委員会委員長 鈴木 禎夫(郡山RC)

本年、4月に開催された国際ロータリー規定審議会に於いて採択された、新しいオプションによれば、例会の運営方法、会員資格、出席要件などクラブ運営の根幹にかかわるようなものがクラブ細則を修正することも可能となり、クラブ運営に大きな変化をもたらすこととなるかも知れません。こうした変化を受け入れて会員基盤の強化を図り更なるクラブの活性化を目指す、クラブ奉仕委員会の目標についても複雑化し簡単にはいかななくなるかも知れません。

1. 先ず地区目標である会員の純増80名と会員維持率1%以上のアップを達成に資するため以下のようなセミナーを企画致しました。

「クラブ奉仕委員会セミナー」

開催日時：平成28年8月20日(土)午後1時半～4時半

会場：郡山市 ユラックス熱海2F大会議室

【対象者】 各クラブ会長・幹事・クラブ奉仕委員長・会員増強委員長などから2～3名の参加をお願いします。

【内 容】 クラブ奉仕委員会担当相談役である渡邊公平パストガバナーに基調講演をお願いし、地区内数クラブより体験談等をお話し頂き双方向的な発言の場を作りたいと考えております。

2. ロータリークラブの公共イメージと認知度の向上をめざして。
プレスキットなどを活用したクラブの広報の在り方を学ぶ機会を作る。
県内地方紙を媒体としてRIテーマのような標語や短文のようなものを広告として掲載し、一般市民にもロータリーへの理解を促すべく、努力する。

職業奉仕委員会



委員長 比佐 臣一(いわき小名浜RC)

副委員長 山田 稔(福島しんたつRC)

職業倫理委員会委員長 田久 昌次郎(いわき平中央RC)

職業情報委員会委員長 林 克重(福島南RC)

本年度職業奉仕委員会は、比佐委員長、山田稔副委員長、田久昌次郎職業倫理委員長、林克重職業情報委員長、佐藤正委員、加藤昌幸委員、猪股純一委員、米山宏志委員、上村直人委員の総勢9名である。メンバーの持てる能力を十分に発揮できるような信頼関係を醸成し、連携を深め、研鑽を積み、あらゆる機会をとらえて職業奉仕の理念を啓蒙し鼓吹する。

第1回職業奉仕セミナーを11月3日、磐梯熱海ユラックスで開催する。特別講師は、第2830地区パストガバナー関場慶博先生(超我の奉仕賞受賞者・小児科医)、テーマは『我らの職業奉仕、今だからこそ』

第2回職業奉仕セミナーは、第2530地区福西宣孝前職業奉仕委員長・福西法律事務所所長殿に特別講師を懇請中である。

前期地区委員会総会ご出席の皆様並びに地区内各クラブの会長・幹事・職業奉仕委員長を中核として、職業奉仕に関する歴史を学び、職業奉仕活動の成果を吸収し、咀嚼し、例会をはじめとするロータリー関係会合のみならず、地域におけるリーダーであるロータリアンは、地域の各種会合等あらゆる機会をとらえて、職業奉仕に関するロータリーの理想や理念を積極的に鼓吹し、啓蒙活動を率先推進することを強く要請する。職業奉仕は、会員一人一人が、自らの職業を通して実践する奉仕活動であり、職業人である私達は、人生に費やす時間とエネルギーの大半を職業につき込んでいる。従って、職業に対してどう考えて臨むかという問題は『人生をいかに生きるか』という問題に直結しており、職業奉仕は、私達ロータリアンの生きる姿勢そのものを問いかけ、人生哲学に通じる重要な理念であることを深く認識したいと考えるものである。

委員会事業計画

社会奉仕委員会



委員長 **伊藤 治**(郡山南RC)

副委員長 **中村 岳嗣**(猪苗代RC)

環境保全委員会委員長 **山田 覚**(福島グローバルRC)

地域社会奉仕委員会委員長 **高縁 勝一**(郡山安積RC)

会員の皆様におかれては既知のことではありますが、決議23-34にみられるようにロータリーとは一つの人生哲学であり、この哲学は『超我の奉仕』(Service Above Self)であり、「最もよく奉仕する者、最も多く報われる」(One Profits Most Who Service Best)とよくいわれるところではあります。特に社会奉仕活動に対する方針として最も明確なところだと承知しております。地区社会奉仕委員会といたしましては、そのようなことを踏まえ、クラブの自主性を重んじ、かつ地区全体の協調性をはかり、地域に根差す社会奉仕活動の一環として以下の事業を継続・実施または推奨したいと計画いたしました。

《環境保全委員会》

1. 猪苗代湖の水草回収事業への継続的支援・

福島県を代表する猪苗代湖の水環境を改善し、復興[FUKUSHIMA]のイメージアップにも寄与する。(参加者は地区行事出席扱い)

2. エコキャップ回収運動の推進・

ポリオワクチン購入資金の捻出として取り組んでまいりましたが、ペットボトルのキャップを回収することによるリサイクルの重要性も加味しまして継続して推進してまいりたいと思います。安積RC推奨の回収法を含め、確実にポリオ基金になる方策をしたいと思っております。(各クラブ→地区→ポリオ)

《環境保全委員会》

1. 地区内のクラブによる社会奉仕プロジェクトの調整と推進を図ります。

2. 各所におかれているAEDを実際に会員が操作できるように各クラブにおけるAED(自動体外式除細動器)の操作法や人口呼吸法等の救命救急法の体験・普及を図ります。

3. 2011.3.11東日本大震災・東電原発事故発生後5年を経た今、世界各地からの復興支援に感謝をし、あわせて現在の福島の姿を、支援していただいた世界の皆様に地区運営(戦略&IT)委員会、国際奉仕委員会、関連委員会と協力して情報を発信します。

国際奉仕委員会



委員長 **挽野 喜孝**(郡山安積RC)

副委員長 **木村 篤司**(白河西RC)

国際交流委員会委員長 **柳沼 克己**(二本松RC)

総論 世界の人口は70億人を超え、それに伴い人間が生きて行く為の条件(状況)が厳しさを求められる時代になっていると思われ、世界的な環境汚染、世界各地での紛争問題、紛争による難民増加、飢餓、貧困、疾病と保健、母子の健康、婦女子の地位向上、飲料水と衛生環境、発展途上にある国々への教育、識字率の向上への協力、挙げれば限りがありません。国際ロータリーは長年に渡り種々の問題に献身的に取り組むを図って居り、支援、援助を受けた国々、地域の人々から喜ばれて居ります、相互にその価値感を共有しあい、国際交流、国際奉仕の感動を味わおう

事業計画

1. ロータリアンクラブ並びに、ロータリアン個人が国際交流、国際奉仕に注力するロータリー活動の推進に対して当委員会は協力する事とする

2. 国際交流、奉仕の切っ掛けを作ろうロータリー財団留学生、米山奨学生、米山学友 等をクラブ例会にゲストとして招聘し、話を聞く

3. 国際奉仕(交流)を実践されている、クラブの実情を卓話等で聞いてみる

4. 国際奉仕(交流)を実践している、クラブと提携し共同で実践してみよう

5. ロータリアンクラブ以外の組織(団体)とのコラボレーションも考えてみよう

6. ロータリーの優先分野(基本六項目)を基本に効果的プロジェクトプランで、国際交流、奉仕の実践の柱とする

7. VTT(職業研修チーム)での交流、を検討する

8. 国際交流、奉仕を実行する為の予算化を図る(各クラブがロータリー財団への積み立て等)

青少年奉仕委員会



委員長 **芳賀 裕**(福島中央RC)

副委員長 **佐藤 喜市郎**(飯坂RC)

インターアクト委員会委員長 **鈴木 かおる**(郡山アーバンRC)

ローターアクト委員会委員長 **廣澤 俊樹**(福島南RC)

ライラ委員会委員長 **佐藤 演由**(白河RC)

青少年交換委員会委員長 **佐藤 治良**(喜多方RC)

- 地区内各クラブの青少年奉仕プログラムを4つの委員会により支援いたします。
 - インターアクト(Interact)委員会
12～18歳の青少年で構成される若者たちのリーダーシップの力と奉仕の心を育むインターアクトクラブを提唱するロータリークラブを支援します。当地区では、現在15高等学校、1専門学校、1中等学校、2中学校の合計19クラブがあります。今年度、新クラブの提唱を支援します。
 - ローターアクト(Rotaract)委員会
18～30歳の若者で構成される大学生および若者たちのリーダーシップの力と奉仕の心を育むローターアクトクラブを提唱するクラブを支援します。当地区では、現在3大学と4社会人を基盤とした合計7クラブがあります。今年度、新クラブの提唱を支援します。
 - ロータリー青少年交換(Rotary Youth Exchange)委員会
15～19歳までの高校生を対象に1年間、国際理解と親善を促進するため海外へ交換留学をする制度で、今年度は、派遣・受入共に2名です。来年度には、より多くの交換留学が実現するよう準備をいたします。
 - ロータリー青少年指導者養成プログラム(Rotary Youth Leadership Awards)
中高生・大学生・若い成人を対象とする地域社会のリーダーシップ養成プログラムです。近年参加者が少ない傾向にありますので、今年度は、各クラブから受講生1名・ロータリアン1名以上の参加を強く働きかけます。
※これらの活動から、青少年と若者が「奉仕を通じての親睦」やリーダーシップを学び取る等、それぞれの人間形成に役立つようにしたいと考えております。
- 会長賞の受賞を目指す「新世代の達成目標」への挑戦を働き掛けます。
「RYLAに参加者を派遣する。」をはじめ、各種青少年奉仕プログラムへ参加することでガバナーが地区目標とされているRI会長賞受賞へ繋がるよう、各クラブを支援いたします。
以上、青少年奉仕委員18名全員で、頑張っておりますので1年間、よろしくお願ひ申し上げます。

ロータリー財団委員会



委員長 **橋本 芳家**(いわき常磐RC)

副委員長 **佐藤 信博**(福島21RC)

補助金委員会委員長 **矢田部 錦四郎**(白河西RC)

資金推進委員会委員長 **青木 謙二**(南相馬RC)

財団資金管理委員会委員長 **早川 敬介**(郡山北RC)

地区学友委員会委員長 **渡辺 浩子**(福島21RC)

今年は私を含めて総勢16名のメンバーで運営をさせて頂きまして宜しくお願ひ致します。さてロータリーの友七月号の表紙に写真が載っていますジョンFジャームRI会長、奥様ジュディ夫人はお二人共アーチクランフソサエティのメンバーです。アーチクランフソサエティのメンバーとは累計で25万ドルをロータリー財団に寄付をした人です。1917年にアーチクランフRI会長がジョージア州アトランタの世界大会で財団を提唱してから今年度はロータリー財団100周年です。皆さんまずは累計で1万ドルの寄付を目指して下さい。累計1万ドルをご寄付された方はメジャードナーとなります。次に累計で2万5千ドルをご寄付されると冠名基金となって名前がつけます。このような大口基金を推奨する第1ゾーンのコーディネーターに佐原元バスターが就任しましたので宜しくお願ひ致します。

今年の当地区の目標は会員の皆様からの寄付の増額と、地区に戻ってくるお金、つまりDDF地区活動資金を全部のクラブで使って頂くことです。

その為には様々な制度の改革をして無駄を無くすとも使いやすくなりたいと思います。その一例が地区補助金をドルで申請して頂きドルで配分することです。こちらの方法ですと予算案と決算額の誤差が生じません。詳しくはクラブの財団委員長の研修で説明致します。

昨年同様今年も地区活動資金の中からポリオ基金に1万ドルを寄付する予定です。これは財団本部とビルゲイツ財団より3万5千ドルが寄付加算されて4万5千ドルを寄付することになります。また世界平和フェローシップに昨年と同額の2万5千ドルを寄付する予定です。すると2530地区は累計5万ドルを寄付した世界平和フェローシップ推進地区になります。またグローバル補助金を使っている福島の土壌放射能汚染と農作物の栽培プロジェクトは現在申請中です。これは、申請クラブは郡山北ロータリーでプロジェクト実行は福島大学と地元市町村の農業団体で台湾1地区韓国3地区アメリカ1地区と1ロータリークラブ、国内は東京2地区と群馬2840地区が参加する壮大なプロジェクトでぜひとも成功したいと思っております。グローバル補助金につかえる地区活動資金はまだ20ドル以上ありますのでぜひ皆さんに活用して頂くように努めていきたいと思っております。今年は財団委員が力を合わせて粉骨砕身頑張りますので宜しくお願ひ致します。

委員会事業計画

米山記念奨学会委員会



委員長 加藤 義朋(福島RC)

副委員長(米山記念奨学会選考委員会委員長) 石黒 秀司(郡山RC)

米山記念奨学会推進委員会委員長 片桐 栄子(郡山コスモスRC)

米山記念奨学会学友委員会委員長 阿部 光司(郡山西北RC)

“ Rotary Serving Yoneyama Scholars & Alumni”『米山奨学生と米山学友に奉仕するロータリー』

《環境保全委員会》

- | | |
|---|---|
| 1. 地区委員会総会 2016/7/10 (リーダー：加藤) 指定校選考委員会 済 | 7. 後期地区委員会総会 (リーダー：石黒副委員長) |
| 2. 米山委員会研修セミナー (リーダー：片桐) 2016/8/27 必須 参加 | 8. 地区大会 ホームカミング制度 (リーダー：石黒) |
| 3. 米山カウンセラー研修会 2016/9/11、新規・継続のカウンセラー | 9. 米山カウンセラー説明会と新規米山奨学生オリエンテーション (リーダー：加藤) 2017/4/23 郡山駅前 ビッグアイ 7F |
| 4. 米山梅吉記念館見学旅行 2016/9/16・17 (リーダー：阿部) 先着 45 名 | 10. 地区米山学友・新規米山奨学生歓迎午餐会で「4分スピーチ」 (リーダー：阿部) 開催日 2017/5/14 会場 ホテル 華の湯 |
| 5. 面接官オリエンテーション (リーダー：石黒、講師 どなたか?) 11/13(日) 米山奨学生選考委員会 佐久間 G, 酒井 PG, 鈴木 GE, 米山委員全員; 他 | |
| 6. 米山奨学生選考試験 (リーダー：石黒) 2016/12/11 【日】 ビッグ アイ 7F | |

『国際ロータリー視覚的広報』 地区内ロータリアンに米山奨学事業の目的・使命の理解と協力を仰ぎ、これらの活動から得られる感動の素晴らしさを伝え推進する。

地区運営(戦略&IT)委員会



委員長 平井 義郎(福島中央RC)

副委員長 土屋 繁之(郡山コスモRC)

戦略委員長 高橋 金一(郡山西RC)

IT委員会委員長 鈴木 雅之(いわき勿米RC)

人今年度始めてできた委員会です。佐久間ガバナーの目標の一つRI会長賞への挑戦に基づき、地区内各クラブの戦略計画策定のお手伝いと、My ROTARYの登録及び操作の指導を行って参ります。地区の戦略計画については、地区戦略計画委員会が策定する事となりますが、それらを受け、実務的な面で整備を行い、ガイドラインを作成して行きたいと思えます。My ROTARYの登録については分区毎に勉強会を開催し、My ROTARYの登録推進はもちろんの事、クラブ計画の入力と操作ができるよう指導して行く予定です。

地区戦略委員会(委員長 高橋金一)

- 先頃開催されたRIの規定審議会における規定の改正論議がきっかけとなって、ロータリークラブのあり方が大きく変容している。しかしながら、先に研修委員会小沼副委員長からの報告のように、改正の趣旨を理解しないまま、改正規定に合わせて、クラブの定款・細則の改訂に入ることは非常に危険性がある。そこで、当委員会としては、この点を各クラブにご理解頂くことを年度当初の目標とし、合わせてクラブにおける戦略計画立案のための方法論を周知させることを今年度の事業計画の柱としたい。
- 具体的な事業計画
 - 地区運営(戦略&IT)委員会の共通の課題についてのクラブアンケート IT及び規定改正に関するアンケートを近日中に実施するので、各クラブにおかれてはご協力をお願いしたい。アンケート内容は、規定改正に関するもの、戦略計画に関するもの、IT(特にMY ROTARYの登録状況)に関するものである。
 - 戦略セミナーの開催 来る11月12日に予定されている「MY ROTARY操作の実践6」に合わせて戦略セミナーを開催し、①のアンケート結果を踏まえ、規定改正の趣旨及びそれを前提とした場合の各クラブで採用可能な定款・細則の例を紹介するなどして、上記の点について意見交換をする機会を設ける。
 - 上記の結果を踏まえて、当地区における戦略計画に関して当委員会が更に行うべき対応について、引き続き調査・研究を行う。

地区運営(戦略&IT)委員会(委員長 鈴木雅之)

本年度のIT委員会の活動役割は、各クラブのIT推進にあり、特にMy ROTARYの登録者数を60%にまで引き上げることにあります。IT委員会は、地区運営(戦略&IT)委員会 平井委員長の方針を受け、以下の事業を実施してまいります。

- 第2530地区 地区運営(戦略&IT)委員会の「役割と目標」
 - My ROTARYの普及と活用 地区目標=地区内会員登録率60%
 - ガバナー補佐、地区委員会との連携
 - 地区ウェブサイト-地区資料室の充実
 - インターネットを活用したテレビ会議
 - 地区メールリストの活用と登録
- 第2530地区 地区運営 IT委員会の具体的な活動 IT委員会としては、地区運営(戦略&IT)委員会と密に連携し、各クラブからIT推進委員1名の選任を得、各分区単位にMy ROTARY勉強会を開催するなど地区クラブのIT化を推進する。

【My ROTARYの勉強会日程】

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 8月 6日(土)……県北第1分区、第2分区 | 11月12日(土)……中央分区 |
| 9月10日(土)……会津分区 | 10月 3日(土)……県南分区 |
| 10月 8日(土)……県中分区 | 1月21日(土)……相双分区 |
| 10月15日(土)……いわき分区 | |

地区研修委員会



副委員長 小沼 俊介(会津若松RC)

委員長 牧 公介PG(船引RC) 委員 渡辺 健寿(福島RC)

委員 中田 博道(いわき平中央RC) 委員 初瀬 照夫(郡山RC)

佐久間年度の大きなテーマの一つである、昨年度規定審議会に於ける決議・採決議案の当委員会としての対応の問題点についての話し合いが行われ、G補佐・地区委員会との整合性の問題、現在進行中のクラブ戦略委員会との関係等多岐に亘り真剣な意見交換が行われた。

今回の規定審議会の決議は、近年になく各クラブの自主性の拡大が如実に表れると同時にロータリーの根源に触れる大きな問題も含み、今後のロータリー活動に大きな影響を及ぼし歴史に残る方向の転換でもあると思われる。従って各クラブに於いては真剣にメリット・デメリットを考え、自クラブの長所・短所を考え、効果的な活力あるクラブの発展に大きく舵を切る絶好な機会であり、各クラブの戦略委員会で実施されているなか、長期目標達成に大きな後押しをしてくれると思う。しかしながら、多くの問題も含んでいることも事実である。

- ロータリーの基本である職業分類の削除(クラブ細則では継続可)
- 例会回数の減少可(毎月最低2回の例会開催)
- 条件付きでオンラインでの例会参加可
- 人頭分担金の増額、その他多くの変更決議が実施され、それらの事がクラブの裁量に一任され自主性が重んじられることで、ロータリーとしての組織が堅実に維持できていくのか?

従って、今回の決議による諸々の変更は、各クラブの自主性の尊重と裏腹に各クラブの責任が重くのしかかって来ることも合わせて考慮し対応して行くことが大切である。以上のような状況下で、それでは次に当委員会として何が出来るのか、今回の採決があくまで各クラブ単位の効果的な活力のあるクラブ作りをめざしている以上、地区委員としての活動範囲は自限定されるが、各クラブが今回の採決をどのような形で自クラブに取り入れているのか、その理由は、メリットとデメリットは、そうした事柄を調査し地区内のクラブと意見を交換しながら、今回の採決に対して研修委員会として取り組んでいくことは出来るのではないかと考えている。

今後G補佐、地区委員会活動と協力し、整合性、意見徴集方法等々、早急にことを進めていかなければならないし、その他多くの地区委員の協力も必要であろう。少なくとも正式な手続要覧に、どのような文書で表現されてくるのかを、確認する必要はあるが、それ以前にある程度の情報の収集の必要性はあると考えられる。

新会員紹介



いわき分区 いわき勿来RC

藤田 紀夫

- ◆入会日:6月1日
- ◆職業分類:自動車教習
- ◆勤務先:福陽自動車教習所



いわき分区 いわき勿来RC

鈴木 敏広

- ◆入会日:6月8日
- ◆職業分類:製缶業
- ◆勤務先:(株)宙エンジニアリング



いわき分区 いわき小名浜RC

小野 佐重喜

- ◆入会日:6月7日
- ◆職業分類:金融業
- ◆勤務先:東邦銀行小名浜支店



会津分区 会津若松RC

酒井 幸一

- ◆入会日:6月29日
- ◆職業分類:信用組合
- ◆勤務先:会津商工信用組合



会津分区 喜多方RC

日下 吉典

- ◆入会日:6月7日
- ◆職業分類:生命保険
- ◆勤務先:日本生命保険相互会社喜多方営業所



いわき分区 いわき平RC

久家 文寿

- ◆入会日:6月16日
- ◆職業分類:内国為替銀行
- ◆勤務先:東邦銀行いわき営業部



いわき分区 いわき平RC

原田 徹

- ◆入会日:6月2日
- ◆職業分類:外国為替銀行
- ◆勤務先:みずほ銀行いわき支店



中央分区 郡山アーバンRC

渡邊 万里子

- ◆入会日:6月1日
- ◆職業分類:広告業
- ◆勤務先:リンクス エージェンシー



中央分区 郡山東RC

菅野 篤

- ◆入会日:6月29日
- ◆職業分類:新聞発行業
- ◆勤務先:福島民友新聞社郡山総社



県南分区 矢吹RC

小室 敏

- ◆入会日:6月1日
- ◆職業分類:建設業
- ◆勤務先:(株)平成工業



県南分区 矢吹RC

橋本 秀也

- ◆入会日:6月1日
- ◆職業分類:建設業
- ◆勤務先:伸和建設(株)



いわき分区 いわき平RC

河口 利夫

- ◆入会日:6月16日
- ◆職業分類:自動車販売業
- ◆勤務先:トヨタカローラいわき(株)



県中分区 小野RC

山崎 智彦

- ◆入会日:6月29日
- ◆職業分類:銀行
- ◆勤務先:東邦銀行小野支店



いわき分区 いわき勿来RC

大市 哲也

- ◆入会日:7月1日
- ◆職業分類:製紙業
- ◆勤務先:日本製紙(株)勿来工場



県南分区 矢吹RC

館 秀幸

- ◆入会日:6月1日
- ◆職業分類:建設業(鋼製建具業)
- ◆勤務先:(有)矢吹タクシー



県南分区 矢吹RC

伊藤 正広

- ◆入会日:6月1日
- ◆職業分類:電気工事業
- ◆勤務先:(株)伊藤電設工業



県南分区 矢吹RC

山口 惣一郎

- ◆入会日:6月1日
- ◆職業分類:
- ◆勤務先:マリン新白河(株)山田資材-ヨ-住器



県南分区 白河RC

菊池 健一

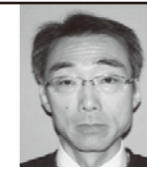
- ◆入会日:6月7日
- ◆職業分類:商業銀行
- ◆勤務先:(株)東邦銀行白河支店



いわき分区 いわき勿来RC

星 行夫

- ◆入会日:7月6日
- ◆職業分類:
- ◆勤務先:学校法人 星学園



相双分区 富岡RC

齋藤 育孝

- ◆入会日:7月1日
- ◆職業分類:環境保全
- ◆勤務先:東京パワーテクノロジー(株)



相双分区 富岡RC

石井 武生

- ◆入会日:7月1日
- ◆職業分類:原子力発電
- ◆勤務先:東京電子ホールディングス(株)



相双分区 富岡RC

熊澤 稔雄

- ◆入会日:7月1日
- ◆職業分類:火力発電
- ◆勤務先:東京電力フエエル&パワー(株)



県南分区 白河西RC

芳賀 慎治

- ◆入会日:6月9日
- ◆職業分類:金融サービス業
- ◆勤務先:(株)東邦銀行白河西支店



県北第二分区 梁川RC

長尾 利通

- ◆入会日:6月1日
- ◆職業分類:金融業
- ◆勤務先:東邦銀行梁川支店



県北第二分区 福島北RC

阿部 友弘

- ◆入会日:6月7日
- ◆職業分類:一級土木建築工事業
- ◆勤務先:(有)交友会建設



会津分区 会津若松RC

武田 修

- ◆入会日:6月1日
- ◆職業分類:ホテル業
- ◆勤務先:会津若松ワシントンホテル



相双分区 富岡RC

早川 ツネオ

- ◆入会日:7月1日
- ◆職業分類:ビジネスホテル
- ◆勤務先:サンライズいわき



中央分区 郡山西RC

佐藤 研一

- ◆入会日:7月 日
- ◆職業分類:新聞発行
- ◆勤務先:(株)福島民報社



中央分区 郡山西RC

後藤 宏

- ◆入会日:7月 日
- ◆職業分類:電力
- ◆勤務先:東北電力(株)郡山営業所



会津分区 喜多方RC

井関 智

- ◆入会日:7月12日
- ◆職業分類:金融サービス業
- ◆勤務先:東北電力(株)喜多方営業所

新会員紹介

 県北第一分区 福島南RC 央戸 隆司 ◆入会日:7月6日 ◆職業分類:鍍金加工 ◆勤務先:(株)旭電化	 県北第一分区 福島南RC 河谷 元 ◆入会日:7月6日 ◆職業分類:不動産鑑定士 ◆勤務先:南福島鑑定	 県北第一分区 福島南RC 渡邊 正義 ◆入会日:7月6日 ◆職業分類:土木資材 ◆勤務先:サンユウ商事(株)	 県北第二分区 福島東RC 野地 淳 ◆入会日:7月8日 ◆職業分類:土木工事・太陽光発電事業 ◆勤務先:(株)エヌテック
 県北第二分区 福島東RC 篠原 正広 ◆入会日:7月8日 ◆職業分類:結婚式場・宴会・レストラン ◆勤務先:(株)With Wedding	 県北第二分区 福島北RC 國府 俊吾 ◆入会日:7月8日 ◆職業分類:電気工事業 ◆勤務先:(株)エアテック	 県北第二分区 福島北RC 石井 浩 ◆入会日:7月12日 ◆職業分類:団体職員 ◆勤務先:福島商工会議所	 県北第二分区 だて西RC 岡田 英男 ◆入会日:7月15日 ◆職業分類:電力 ◆勤務先:
 県北第二分区 だて西RC 岡部 正人 ◆入会日:7月15日 ◆職業分類:集会所管理 ◆勤務先:集会所	 県北第二分区 だて西RC 坂本 銀子 ◆入会日:7月15日 ◆職業分類:集会所管理 ◆勤務先:集会所	 県北第二分区 だて西RC 佐藤 昇 ◆入会日:7月15日 ◆職業分類:農業 ◆勤務先:	



事務担当者研修セミナー



7月16日、郡山ビューホテルにて「事務担当者研修セミナー」を開催いたしました。事務局、幹事の皆様約50名の参加をいただきました。

当日の次第は次の通りです。

- ・佐久間英一ガバナーあいさつ、三條安國資金委員長あいさつ、地区役員紹介
- ・本日の研修会趣旨および報告事項、行事予定の説明・永井久区幹事
- ・地区資金・送金について・川又暉之地区資金委員会副委員長
- ・ロータリーの友について・白岩良子ロータリーの友地区代表委員
- ・出席について・平井義郎地区運営(戦略&IT)委員会委員長

質疑応答のあと、全員での写真撮影を行いました。

その後行われた懇親会は終始和やかな雰囲気、分区毎のテーブルでは事務局、幹事の皆様が懇親を深めました。ご参加いただいた皆様ありがとうございました。

■欠席された事務局の皆様へ

今年度の月次出席報告書(クラブ月報)は地区のホームページからダウンロードしていただくようになります。

国際ロータリー第2530地区ホームページ <http://ri2530.com/>

「ダウンロード」欄 → 2016-17年度第2530地区資料 → 「2530地区」

とすすみ、3番目の「クラブ月次出席報告書(クラブ月報)」をダウンロードして使用してください。報告期限は翌月10日までとなります。



RI会長代理、田中作次元RI会長に決定!

2016-17年度地区大会情報

9月24日(土)25日(日)に開催される地区大会にRIから派遣されるRI会長代理は、2012-13年度RI会長の田中作次氏(第2770地区八潮RC)に決定しました。

多くの会員のご登録、ご参加をお待ちしています。
(地区大会実行委員長：増子博保)



国際ロータリー第2530地区 2016-17年度

地区大会のご案内

【ホストクラブ】三春ロータリークラブ
【コ・ホストクラブ】本宮ロータリークラブ・滝根ロータリークラブ
常葉ロータリークラブ・小野ロータリークラブ
船引ロータリークラブ

人類に
奉仕する
ロータリー

会期：2016年9月24日(土)・25日(日)

第1日 9月24日(土)ホテル華の湯

◇会長・幹事会

- 13:30 登録
- 14:00 開会点鐘
議事
- 14:50 閉会点鐘

◇地区指導者育成セミナー

- 14:50 受付・登録
- 15:10 開会点鐘
- 15:20 講演
講師 RI研修リーダー
- 16:30 閉会点鐘

◇RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会

- 17:00 受付・登録
- 17:30 RI会長代理ご夫妻入場
- 19:30 閉会



櫻井権司氏

第2日 9月25日(土)郡山ユラックス熱海

◇大会本会議

- 8:30 登録
- 9:30 開会
RI会長代理紹介・大会委員会報告
RI現況報告・地区現況報告
各種表彰・感謝状贈呈
- 12:15 昼食(休憩)
- 13:00 記念講演
講師：セブン銀行会長
安齋隆氏(福島県出身、日銀OB)
演題「危機管理の人生」
- 14:20 IAC・RAC・米山奨学生・
青少年交換学生紹介、活動発表
- 14:40 参加クラブ紹介
- 15:00 閉会セレモニー
- 15:30 閉会点鐘



県中分区会長幹事会での試み



ガバナー事務所



会長幹事会会場(滝根)

県中分区の眞田規行ガバナー補佐が7月19日に開催した会長幹事会においてクラブIT化の実現に向けた試みを行いました。インターネットのスカイプを利用してガバナー事務所の佐久間英一ガバナー(三春)と会長幹事会会場(滝根)を結んでテレビ電話会議を行いました。